

古書店サイト好評

神保町 在庫10万冊の情報掲載

世界最大の書店街、神保町古書店の在庫情報などを幅広く集めたサイト「BOOK TOWN じんぼう」が好評だ。今月二十一日の公開開始以来、反響は上々だ

古書店百五十一店について、店舗の場所、どの分野の古書に強いかなどの情報を独自インタビューをもとに紹介。うち八十五店の十万冊分の在庫情報を載せている。

「店名の検索は、書名に含まれるキーワードだけでなく、「浮世絵などの江戸文化に関係する本」といった語句から連想させて検索ができるのが特徴で、こうした古書サイトは初めてという。

この在庫の検索は、書名に含まれるキーワードだけでなく、「浮世絵などの江戸文化に関係する本」といった語句から連想させて検索ができるのが特徴で、こうした古書サイトは初めてという。

「新しい顧客の獲得につながる」「あとはデータの充実だけ」といった期待の声が上がっている。二十八日から始まる恒例の「神田古本まつり」では、三省堂、ブックハウス神保町などが店内に端末を置き、サイトを利用してもらう。

例えば「野球の歴史」と入力すると、各店が用意した書籍の解説情報をもとに「子規とベースボール」といった書籍が出てくる。そこから書籍を扱う店舗のホームページに入る事ができる。一年後に百万冊まで増やしたいという。

このサイトは、書店街の近くにある国立情報学研究所(千代田区)の高野明彦教授(情報学)らが、神田古書店連盟の協力で開催した。

同連盟のほぼすべての古書店百五十一店について、店舗の場所、どの分野の古書に強いかなどの情報を独自インタビューをもとに紹介。うち八十五店の十万冊分の在庫情報を載せている。

公開された神保町の古書店情報を集めた、国立情報学研究所がつくったサイト

公開された神保町の古書店情報を集めた、国立情報学研究所がつくったサイト



公開された神保町の古書店情報を集めた、国立情報学研究所がつくったサイト